

高知くらしの護身術

469

エアコンの事故

ゴキブリから火災も

(2018年6月19日掲載原稿)

夏到来。暑い毎日が続くとエアコンが恋しくなります。しかし、メンテナンス不足や誤った使い方が原因で発火・火災などの事故が発生したという報告がありますので、注意が必要です。

【事例1】エアコンが壊れたので、修理に来てもらったところ、エアコンの基板にチャバネゴキブリが入り、それが原因でショートしたことが分かった。

【事例2】エアコンを使用中、焦げ臭いにおいがしたので、電源を切り、修理を依頼したところ、基板が熱で溶けていると言われた。なおいに気づかず使い続けていたら火事になっていたかもしれない。

エアコンの室外機内部に、ゴキブリやナメクジなどが侵入し、電源基板に付着することが原因で火災につながることもあります。

また延長コードの電源タップから出火し、住宅を全焼したという事故も発生しています。

室外機付近にはごみや植木鉢などを置かずに、きれいにしておきましょう。また、エアコンの電源プラグは、専用のコンセントに直接つなぎましょう。

ほかにも、①電源コードや電源プラグが異常に熱い②電源プラグが変色している③ブレーカーが頻繁に落ちる④異音がする⑤室内機から水漏れがする—といった異常がある場合はすぐに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、販売店やメーカーに相談してください。

2009年4月から「長期使用製品安全表示制度」が始まり、それ以降に製造または輸入された製品には、「製造年」「設計上の標準使用期間」が表示されています。

標準使用期間を過ぎた製品や、表示が確認できない古い製品の場合は、特に注意が必要です。確認しておきましょう。